

轟とどろ

平成22年 9月30日
9月号

大盛会！運動会

19日(日)に開催した運動会は、絶好の天気の下で例年以上の参加者で賑わいました。「元気な笑顔で生き生きと」のスローガンを掲げ全員がよく頑張った最高の運動会となりました。スローガンどおりに子ども達は自分の力を発揮してくれました。皆さんから子ども達の頑張りについて賞賛していただきました。今年も熊本大学より4名に参加していただき、大変盛り上げてくれました。



野菜の収穫を次々と



春に子ども達が植えた野菜の苗が順調に育ち、ゴーヤ・ナス・トマト・ピーマン・とうもろこし・すいか・オクラなど食べきれないほど実りました。狭い土地でも真心込めて世話をすると作物もきちんと実ることを体験しました。

ジェフリー先生よろしく

10日(金)にカナダ出身のジェフリー先生が着任しました。マシュー先生が任期を終え先日アメリカに帰国しましたので、入れ替わっての着任となりました。日本語も大変上手で、子どもが大好きな先生です。ふだんは、5・6年生だけが外国語について勉強しますが、休み時間ともなると他の学年の子ども達とも一緒に遊んでくれます。



泉町集合学習を第一小で開催

28日(火)に泉第一小学校で泉町内の全児童と一緒に勉強する集合学習を開催しました。午前中は、先生方が入れ替わりチームを組んで授業をします。午後は、文化庁に申し込んだ舞台芸術体験事業「東京合唱協会巡回公演」を全員で鑑賞しました。直接触れる機会の少ない文化事業に接して、その素晴らしさを肌で感じてくれたものと思います。本校の子ども達は生き生きと活動していました。



校長コラム

人間は独りでは生きられない。人と人のあいだに心でつながる「間」があるから人間。「間」が大切だ。食事さえ与えれば人は大きくなるが、「間」は教えないと人間は育たない。家庭でも学校でも会社でも崩壊したり、トラブルがある時は、必ず心のつながり「間」が細くなっている時である。挨拶しない、会話しない、一緒にいないことが増え、「間」を自分から敬遠する孤立化が見られる。テレビも「間」を遮断する。それに慣れば、面倒だ、うるさい、関わりたくない、独りの気楽さを感じるようになり、人を避け外に出ようとしなくなる。そんな人に共通するのは、いつもイライラする、人の悪い所ばかりが目に入る、何もしたくないというような言動が日常的に見られる。それは危険信号の時。そんな姿勢が自分や家族などに見られたら、「間」の心のつながりを自分から取りに行こう。先ず自分から挨拶、自分から声かけ、自分から人と一緒に過ごす時間に心掛けよう。間が欠けた間抜け人間化したら生きがいは見出しえない。できれば汗を一緒にかく活動をしよう。一緒に散歩、一緒に作業、一緒に料理など一緒に活動して流した汗が誤解や偏見そしてストレスまで流して心もスッキリ。人間は、「間」が大切！「一緒」が大切！「汗」が大切だ。